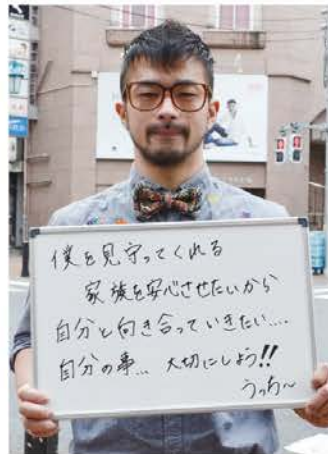


VOICE

新宿二丁目で活躍する男の子たちの声



Q. あなたにとってセーフセックスとは? HIV とは? 検査をする理由とは? = 伝えたいメッセージは何ですか?

東京都南新宿検査相談室への道!



心配になったとき？ 定期検査として？ あなたのタイミングで安心して受けられるHIV検査 東京都南新宿検査・相談室に行ってみよう！

無料 **匿名** **平日
土日** **30分
程度** **HIV
梅毒** **希望
相談** **病院
紹介** 「東京都南新宿検査・相談室」は安心してHIV検査が《無料》《匿名》で受けられ、カウンセラーにも相談できる場所です。ぜひ利用してみてください。

電話予約 **インターネット予約**



電話予約は空きがあれば当日検査も可能。また、名前を言う必要はありません。名前の代わりに予約番号をもらいます。



24時間好きな時間に2日前までの予約ができます。名前を入力する必要はありません。予約番号を付与されます。

感染の恐れのある機会から
60日以上経過してから受けましょう！

検査日 (30分程度)

受付・ガイダンス **採血**



当日、受付で予約時に告げられた予約番号を伝え、検査申込書に《性別》《年齢》《好きな番号4つ》のみを記入し、そのまま待合室で待ちます。その後、呼ばれたら採血前に検査の説明・HIVに関する基本的な知識を教してもらい、採血をして、終了となります。



採血セットは
これだけ！

注射器・針
消毒用の綿
ばんそうこう
採血容器

使用する物品すべて使い捨て

採血は小さじ1杯分

検査日から一週間後の予約した **検査結果日**

結果告知 **結果後医療相談** **アンケート記入**



検査申込書の控えを受付で提示し待合室で待機。その後、個室で医師から検査結果を聞きます。



医療や予防などについての相談を医師と行います。陽性の場合は病院の紹介状を発行します。



今後もみなさんが安心して検査・相談室が利用できるように、アンケート記入に協力をして、終了です。



陽性だとわかった場合は、一緒にカウンセリングし、全国にある専門の医療機関の中からあなたが受診しやすい病院宛の紹介状を発行するので、安心してください。早期発見であれば、普段と変わらない生活を送ることができます。

安心して利用できる検査・相談室ってこんなところ



入りやすい建物

他テナントも入っているビルで、表札にはHIVの表記が一切なく、検査にきていることがわかりにくい工夫がされているので安心して入れます。



配慮された待合室

待合室は、「検査専用の待合室」と「検査結果専用の待合室」に区切られ、待っている間は検査に関するVTRやTVなどを観ることができます。



希望カウンセリング

病院では対応が難しい、HIVの相談やセックスの悩みなどを希望制で心理ケア専門の臨床心理士がカウンセリングします。(火・木・土・日)

東京都エイズ予防月間

毎週 水・土・日は 梅毒の検査も同時実施

11月16日～12月15日は 梅毒・性器クラミジア・淋菌の検査も同時実施

東京都南新宿検査・相談室までのアクセス

**JR新宿駅
《南口》**

NEWoManが見える改札
(または甲州街道改札)

から **徒歩3分**
近いよ!!

東京都渋谷区代々木2-7-8 東京南新宿ビル3F(1Fはトヨタレンタカー)



ご予約は電話またはインターネットから
tel:03-3377-0811

●電話受付時間 平日15:30～19:00
土日13:00～16:30
●検査受付時間 平日15:30～19:30
土日13:00～16:30

(祝日・振替休日・年末年始を除く)

http://www.tmsks.jp

携帯電話・スマートフォンからは、24時間いつでも予約ができます！



無料・匿名
あんしんして検査できます

東京都のHIV／エイズなど性感染症の現状を知ろう！

HIV感染者・
エイズ患者数
435人
(1日あたり1.2人)

感染経路
男性同性間の
性的接触
77.9%

20歳代～
30歳代の
割合は
65.2%

平成27年に新たに報告されたHIV感染者・エイズ患者数は435人(1日あたり1.2人)です。推定感染経路別では男性同性間の性的接触によるものが77.9%と最も多く、年齢別では20歳代と30歳代が65.2%を占めています。

梅毒急増 過去最多1,387人
(平成28年10月23日時点)

近年、梅毒が急増しており、患者報告数は平成28年10月23日時点で1,387人と過去最多であった前年1,044人を上回っています。平成27年の推定感染経路ごとに見ると、男性では同性間の性的接触によるものが288件と37.3%を占めています。

《梅毒ってこんな病気》

感染している人との性行為(粘膜や皮ふに直接接触すること)によって感染します。陰部にしこりや潰瘍ができたり、全身に発疹が出たりします。治療しなくても症状は一旦消えますが、身体の中で進行し、眼、脳や心臓に症状が出ることもあります。

- ◎潜伏期間 約3週間
- ◎検査 血液検査(感染機会から1ヶ月以降)
- ◎治療 早期の薬物治療で完治が可能です
- ◎治療期間 医師から治療終了と言われるまで



梅毒は免疫ができないため、何度でも感染します。
検査はパートナーと一緒にいきましょう！

HIVとエイズは違う？



A. はい！違います！

HIVはウイルスの名前で、エイズはHIVに感染し免疫力が低下して普段はかからないような病気を発症した状態を言います。HIVに感染しても、自覚症状がほとんどないため、感染に気づかずエイズを発症してしまうケースがあります。

食事ではうつらない？



A. うつりません！

目の前でくしゃみをされたり、一緒に鍋をついたりすることでは感染しません。HIVは、感染している人の血液、精液、膣分泌液、母乳に主に含まれていて、粘膜や傷口を通して人の体に入り込み、感染します。感染経路のほとんどが性行為です。

感染を防ぐには？



A. コンドームが有効！

アナルセックスやフェラチオなどでも感染の可能性があります。コンドームを正しく使用したより安全なセックス(セーフセックス)が予防に有効です。また、コンドームの使用はHIV／エイズ以外の梅毒などの性感染症予防にも有効です。

感染を知る方法は？



A. HIV検査のみ！

HIVに感染しているかどうかは、自覚症状がほとんどないので、検査を受けないとわかりません。気づかないうちに、他の人に感染させる可能性があります。早く感染を知るとは、とても大切です。健康を考え定期的にHIV検査を受けましょう！

医療費って高いの？



A. 医療費助成で安心！

HIV陽性者は免疫機能の程度に応じて身体障害者手帳(免疫機能障害)を申請することができます。手帳が交付されると、医療費助成制度(自立支援医療：更生医療)などのサービスが利用可能です。制度を利用すると月々の自己負担額は0～2万円です。

HIV／エイズは、感染を早く知って、適切な時期に治療を開始することで

エイズ発症を抑え、今までとほぼ同じように生活することができます

わからないからこそ不安になる。あなたを支える各種相談窓口

《ぶれいす東京》

●HIV陽性者とパートナー、家族、確認検査待ちの人のための電話相談
tel.0120-02-8341 (月～土/13:00～19:00)

●HIV陽性者とパートナー、家族のための「ネストプログラム」の運営
●ボランティアスタッフの派遣 問い合わせ・申し込み
tel.03-3361-8964 (月～土/12:00～19:00)



●HIV／エイズ感染不安の電話相談
tel.03-3361-8909 (日/13:00～17:00)

●ゲイによるゲイのためのHIV／エイズ電話相談
tel.03-5386-1575 (土/19:00～21:00)

《東京都・電話相談》

●東京都HIV／エイズ電話相談 **tel.03-3292-9090**
(平日/9:00～21:00) (土日祝/14:00～17:00)

《HIV検査・相談を実施する保健所などの情報》

●東京都HIV検査情報Web <http://tokyo-kensa.jp> ●HIV検査・相談マップ <http://www.hivkensa.com>

●HIVマップ <http://www.hiv-map.net>

※QRコードは左から東京都HIV検査情報Web、HIVマップ、HIV検査・相談マップとなっています

